

文献と事例から学ぶ子どもの心理療法

—アセスメントからコンサルテーションへ—

少子化や外国籍の子どもや家族の増加などによる日本の社会の変化に伴い、子どもや保護者や家族が抱える心理的な困難さの内容や性質も変化しているように感じられます。また、医療、福祉、教育、司法領域など、心理面の理解や支援が必要とされる職域も広がっているようです。そのような変化の中、相談者のニーズに沿った心理支援を行う柔軟性と共に、人の心や関係性への理解も臨床家にはさらに必要になるように思われます。精神分析的な見方や考え方を含むアセスメントやコンサルテーションの力を高めることは、多様なニーズをもつ子どもや親子への支援の助けになるでしょう。そして、人の心や関係性への理解も深めてくれるでしょう。

2026 年度は、英国独立学派の児童青年心理療法士が中心となって執筆した文献の講読と受講者が提示する事例の検討を通して、アセスメントからコンサルテーションについて学びます。毎回のセミナーは、文献についてのミニディスカッションと事例検討から成ります。

講読予定の文献：「子どもの精神分析的心理療法のアセスメントとコンサルテーション」

(アン・ホーン/モニカ・ラニヤード編著, 誠信書房) (*各自でご準備ください。)

【開催日程】2026 年 5 月～2027 年 2 月の原則、第一日曜日 午前 9 時 45 分～12 時

*5 月と 2 月は、午前 9 時 30 分～12 時

2026 年 5 月 10 日(第 2 日曜)/6 月 7 日/7 月 5 日/8 月 2 日/9 月 6 日/10 月 4 日/11 月 1 日/12 月 6 日/2027 年 1 月 10 日(第 2 日曜)/2 月 7 日(予備日: 3 月 7 日)

【対象】

- ・医療、教育、福祉、司法領域、及び近接領域で乳児期から青年期までを対象とした心理支援に従事している専門家
- ・精神分析的な見方や考え方に関心のある方

【参加条件】

- ・乳児期～青年期までの事例、あるいは、乳児期～青年期までの親子や家族の事例を発表できる方（精神分析的心理療法、定期的な心理療法、長期のケース、アセスメント面接、コンサルテーションなどである必要はありません。）
- ・事例の守秘を守ることができる環境で受講ができ、画像をオンにしてご参加いただける方

【受講料】 45,000 円(年間 10 回分)

【定員】 10 名まで(お申込み順となります)

【開催方法】 オンライン

【セミナーリーダー】 脇谷順子(杏林大学/こども・思春期メンタルクリニック)

【申込期間】 2 月 6 日(金)～3 月 20 日(金)

【申し込み】 下記 URL または右 QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/eUSV6Cs5o6bjjMww9>

* 臨床心理士資格更新ポイント(定例型研修会)申請予定



【問い合わせ】 小寺財団事務局 kodera.fps@gmail.com